

国語(現代文) 広島大学 法・医・歯・総合科学部 国際共創 前期日程 1/3

<総括>

出題数	現代文 3題・古文 1題・漢文 1題	試験時間	120分
-----	--------------------	------	------

例年の評論ではなく随筆が出題された。
抜き出しの問題が出なかった。

<本文分析>

大問番号	第一問 現代文
出典 (作者)	『大学の教室で』(島田 潤一郎)
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・ <u>大幅増加</u>) 約 5380 字 (2024 年 約 2190 字)
難易 前年比較	難易 (易化・やや易化・ <u>変化なし</u> ・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)
一	随筆	問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八	記述 論述 論述 論述 論述 論述 論述 論述	標準 標準 標準 標準 標準 標準 やや難 難	漢字 書き取り。従来通り 5 問。 「そういうもの」という指示内容を答える問題。 「その指摘」の内容をおさえつつ答える問題。 前述の文脈をおさえて答える。 前述の文脈をおさえて答える。 設問の意味が分かりにくい。 前述の文脈を踏まえて解釈して書く問題。 4 つの指定された語句を用いて本文全体を踏まえて説明する問題。150 字の指定があった。

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・評論ばかりでなく随筆も読み慣れておこう。
- ・漢字は必ず出るので日頃から対策しておくこと。
- ・150字程度の論述の練習をしておくこと。

国語(現代文) 広島大学 法・医・歯・総合科学部 国際共創 前期日程 2/3

<総括>

出題数	現代文 3題・古文 1題・漢文 1題	試験時間	120 分
-----	--------------------	------	-------

本文量はやや増えたものの、本文は読みやすく、とりくみやすい設問が多かった。

<本文分析>

大問番号	第二問 現代文
出典 (作者)	「風下の朱」(古谷田 奈月)
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量 (減少・やや減少・変化なし・ やや増加 ・増加) 約 4050 字 (2024 年 約 3720 字)
難易 前年比較	難易 (易化・ やや易化 ・変化なし・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)
二	小説	問一	論述	標準	野球とソフトボールの違いを「神聖な経路」に反映させる。 擬態語のニュアンスを吟味する。 傍線の動作や視線に即して考える。 「同胞」の意味することを踏まえ端的に答える。 「比喩」「漢字四字」という条件に留意する。 傍線に用いられた比喩を踏まえて解答する。 「変化」を順を追って制限字数でまとめる。
		問二	選択	易	
		問三	論述	標準	
		問四	論述	標準	
		問五 1	抜き出し	標準	
		2	論述	標準	
問六	論述	標準			

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・幅広いタイプの小説の問題を多く解くこと。
- ・文脈に即して文章に用いられる比喩や象徴表現を解釈する練習をしておくこと。

国語(現代文) 広島大学 法・医・歯・総合科学部 国際共創 前期日程 3/3

<総括>

出題数	現代文 3題・古文 1題・漢文 1題	試験時間	120分
-----	--------------------	------	------

本文量は減少。設問の意図が分かりやすく、解答しやすいものが多い。

<本文分析>

大問番号	第三問 現代文
出典 (作者)	『「コミュ障」の社会学』(貴戸 理恵)
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量 (減少)・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 約 2050 字
難易 前年比較	難易 (易化・やや易化・変化なし)・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)
三	随筆	問一	論述	標準	文脈に留意しつつ、「魔界」のニュアンスにも注意する。 「不自由」の意味合いを踏まえる。 本文中の表現を用いて説明する。 「微妙」「葛藤」のニュアンスを考える。 直前の説明を踏まえる。 「それ」の指示内容を踏まえて考える。
		問二	論述	標準	
		問三	論述	やや易	
		問四	論述	標準	
		問五	論述	標準	
		問六	論述	標準	

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・色々なタイプの文章 (エッセイを含む) を読んでおこう。
- ・100字前後の論述にも慣れておこう。